

ひまわり



令和3年12月24日(金)

心の……



令和3年(2021年)もあと数日。今年も新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。8月をピークに、急激な収まりをみせた新型コロナが、今度は新たな変異種としてその脅威をみせつつあります。大阪での市中感染の疑いが報道されるなど、余談を許す状況ではありません。今後も、できる限りの感染防止対策に留意しましょう。一年の締めくくりにあたり、皆さんに3つのことを伝えます。

1 心の掃除

この時期、多くの家庭で大掃除をすることでしょう。北田辺6丁目で祖父母が営んでいたタバコ店では、12月30日に大掃除をするのが恒例でした。子どもの頃に、いつも手伝われた記憶があります。その時、祖母から言われた言葉は今でも忘れません。

「作業としての掃除はあまりにもつまらない。この一年、この場所を使わせてもらってありがたいという感謝の心で掃除をすれば、それは自分の心の掃除にもなる」

このような気持ちで、家にも心にも磨きをかけてみませんか。

2 心の切りかえ

毎日新聞のコラムに、「初暦(はつれき)知らぬ月日は美しく」「暦売り知らぬ月日を抱えつつ」(吉屋信子・作家)とありました。ここで言う暦はカレンダーのことです。年越しでカレンダーを入れ替える人も多いでしょう。今年のカレンダーを通して一年を振り返り、真新しいカレンダーを通して新年への期待を膨らませる。年越しは心をリセットし、新たな目標に向けて頑張る心に切りかえる時でもあるのです。

3 心の持ちよう

冬は寒いので苦手です。これからの時期、起床時刻になってもお布団から出にくいものです。寒さの厳しい冬ですが、松尾芭蕉は次のように詠みました。

「面白し 雪にやならん 冬の雨」 冬の雨や雪は、昔も今もあまり歓迎されるものではないでしょう。しかし、芭蕉は「面白し」と言い切りました。四季の移ろいを大切にしたい芭蕉の粋(いき)でポジティブな生き方が見える句です。嫌なこと、苦手なことも、自分のためになることだと視点を変えれば、人は積極的になれるものです。

以上、3つのことを伝えました。年末年始は「心を落ち着けて」、新たな年への期待と希望をもって過ごしましょう。それではよいお年を。(^)v

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>